

Date	Version	修正項目
2017/08/21	20.20	<p>機能拡張項目</p> <p>＜共通コマンド＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 『ファイル名をつけて保存』コマンドの「ファイル名アシスト」に「CAD 製図基準 平成 29 年 3 月」のファイル名命名規則に準じたファイル名を作成出来る機能を追加しました。 <p>不具合修正項目</p> <p>＜共通コマンド＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 『編集－レイヤ』コマンドでレイヤの表示順をソートしても、レイヤパネルの表示順に反映されない場合がある点を修正しました。 『編集－寸法－寸法値位置』コマンドで寸法値のラバー表示がプレフィックス、サフィックスを考慮していない点を修正しました。
2016/10/05	20.00	<p>機能拡張項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 伏越配置機能追加しました。『WC 平面－伏越配置』を実行すると伏越形状設定後、路線上の任意の位置に配置できます。 『WC 平面－障害埋設物配置』コマンドで、障害埋設物を考慮し伏越の作図を行うか選択できる機能を追加しました。 メインウィンドウにレイヤリストを表示可能にしました。アクティブレイヤの切り替え、レイヤのモードの切り替え等が簡単に行えるようになります。 bfox 形式に保存時ハイパーリンク先のファイルを bfox に含めるようにしました。 文字関連要素「文字列」「寸法線」「引出線」「バルーン」をダブルクリックした時に起動するコマンドを選択出来るようにしました。 『ファイル－開く』ダイアログでネットワークパス(\\¥¥aaa¥bbb 等)を「ファイル名」に入力して「開く」を押すとネットワークパスに移動出来るようにしました。 『作図－アクセサリ－仮設構造図－親杭』『作図－アクセサリ－仮設構造図－H形鋼』コマンドにH型の材料種類を追加しました。 『作図－アクセサリ－仮設構造図』の『H形鋼』『I形鋼』コマンドでコーナーのR、フランジのテーパの作図に対応しました。 『作図－アクセサリ』に新規コマンド『等辺山形鋼』『不等辺山形鋼』『不等辺不等厚山形鋼』『溝形鋼』『CT 鋼(橋梁用)』を追加しました。 <p>仕様変更項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 『編集－レイヤ』コマンドにおいて要素の存在するレイヤも強制的に削除出来るように変更しました。 『編集－クリップボードコピー』コマンドでコピー元の表示される範囲以外は削除してコピーするようにしました。 『作図－アクセサリ－仮設構造図』の『H形鋼』『I形鋼』コマンドの「断面図」及び「ジャッキ」を作図する場合の作図手順を変更しました。 <p>不具合修正項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 『WC 平面－直管配置』コマンドで直管の作図方向が、不正な向きで作図する場合がある点を修正しました。

		<ul style="list-style-type: none">・ Ver. 18 以前で作成した半径寸法、直径寸法のデータを読み込むと” R= ”, ” ϕ= ” 等のプレフィックス、サフィックスが消えてしまう点を修正しました。・ 矢印の無い引出線・バルーン（端点タイプが「なし」または矢印 OFF）を SXF に出力すると、文字列が欠落する点を修正しました。・ Windows10 32 ビット版環境で、『編集-レイヤ編集』コマンドのレイヤリストのヘッダーをクリックしてソートすると強制終了する点を修正しました。
--	--	--